

会社	会社名	ダイニチ工業株式会社		
概要	従業員数	525 名	業種	製造業

1. ねらい

社員が出産に伴い育児休暇制度や育児短時間勤務制度を利用する際に、周囲の社員に迷惑をかけずに気兼ねなく取得できる仕組みづくり

(いずれも 2014 年度より本格的に実施)

2. 施策内容

①生産部門における育児短時間勤務者だけを集めた専用ラインの設置

(背景) 事務などの間接部門の短時間勤務者の場合は、自分自身で仕事のコントロールが可能なため、周囲への影響は比較的軽微にすむ。
しかしながら生産部門でライン作業に従事している場合、短時間勤務で不在になった時間は班長、係長などのリーダーがライン作業に入り補完しなければならなかった。

(内容) 生産部で比較的台数が少なく、臨機応変な生産を行っている「特機ライン」を短時間勤務制度取得者の専用ラインとし、9:00~16:30の短時間勤務者に合わせた運用を行うこととした。
(本来は8:30~17:30が就業時間)

②全国の営業事務を本社で一括対応するための「営業コールセンター」の設置

(背景) 全国の営業所には女性事務員がおり、電話や営業サポートの事務作業に従事している。その事務社員が育児休暇を取得する場合、派遣社員を雇用するか、周囲の営業所員が代行することになり周囲への負担が大きかった。また周囲に迷惑をかけることを懸念し、出産を機に退職する社員もいた。

(内容) 本社の営業事務を取りまとめる販売管理という部署を「営業コールセンター」と位置づけ、全国の営業所にかかる電話・FAXはすべて本社に転送されるシステムを導入し、すべての対応を行うこととした。また営業所の事務員もその一員として分業を行い、電話・FAX・その後の処理を行うこととした。

3. 取組実績・効果

①生産部門における育児短時間勤務者だけを集めた専用ラインの設置

5名程度の社員が従事し、運用を行っている。

②全国の営業事務を本社で一括対応するための「営業コールセンター」の設置

育児休業制度や短時間勤務制度を利用する場合も周囲への負担はかけないようになった。
(3年間で4名が制度を活用)